

## WLB 推進を検討している皆様へ

### WLB 推進前の課題、問題

建築設計技術者は、採用・育成が非常に困難なため、なるべく長く勤めてほしいとの思いがありますが、育児・介護による離職や、より時間の自由がきく職種へ転職する人も少なくありませんでした。これは本人のみならず、会社、さらには社会的にも大きな損失につながるものでした。

### WLB 推進時の困難点、克服策

15年前、育児休業後の在宅勤務制度を導入した当初は、女性社員の数が少なかったこともあり、男性社員から好意的ではない意見が多く出ました。しかし、能力の高い女性社員が会社を去ることは、会社全体にとってもマイナスの側面が大きく、いずれ社員が増えれば解決すると辛抱強く説き、親の介護などで、男性、女性を問わずいずれ自分自身もその立場におかれる可能性があることも理解してもらいました。

### WLB 推進による効果

社員と会社の双方にとって最良の方法を模索する中で、お互いが描く多様な働き方の中から「WIN-WIN」の関係を得られるワークライフバランスの推進に至りました。具体的には、在宅勤務制度の導入により、社員としての定着率100%を確保することが可能となりました。長期間をかけて育成した優秀な人材が未永く働くことは、本人にとっても大変喜ばしく、高いモチベーションの源泉となるだけでなく、慣れた環境で高い能力を発揮することで会社にも大きな貢献を果たしています。

## WLB 推進を検討している皆様へメッセージ

生活の充実が仕事の質を向上させ、仕事の成果が上がることで生活が潤います。ワークライフバランスの推進により仕事と生活の相乗効果が確実に図れます。仕事と生活の両輪がバランスよく回転することで双方に大きな推進力を与えます。素晴らしい効果が得られることを皆で共有し、一人ひとりにベストマッチする環境の実現を目指し、まず各々の現状を真摯に話し合うことから、じっくりと時間をかけて取り組むと良いと思います。



# WORK LIFE BALANCE

認定部門 多様な勤務形態導入部門

## 株式会社 阿部兄弟建築事務所

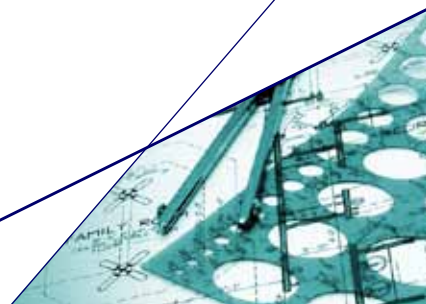




認定部門 多様な勤務形態導入部門

# 株式会社阿部兄弟建築事務所

株式会社 阿部兄弟建築事務所  
Abe brothers architects since 1968



代表者名  
荒井 豊人

創立  
1968年

所在地  
東京都千代田区岩本町1-3-9

TEL/FAX  
03-3866-4181 / 03-3866-4120

従業員数  
22名 (うち正社員16名)

URL  
<http://abeoffice.co.jp>

## 事業内容

1. 建築意匠に関する企画、設計、監理業務
2. 建築構造に関する企画、設計、監理業務
3. 耐震診断および、耐震補強設計業務
4. 免震・制震構造設計

## 目的/理念

企業活動は、仕事を通して自己実現を図ることを望む社員一人ひとりの良好な生活基盤(ライフ)があってこそ成り立ちます。会社における個々人のパフォーマンスを最大限に発揮し、その望みを達成するには、個々人が描く最も理想的な勤務形態に近づけることが大切だと考えており、その実現に向けて積極的に、しかも柔軟性を持って取り組んでいます。

## 取組内容

- ・在宅勤務制度の導入(育児、介護、社会貢献活動等に伴う利用)  
育児、介護はもちろん、社会貢献活動などの事由でも在宅勤務を認めています。期間の制限なく利用でき、子どもの成長や介護の状況などに合わせて出勤日と在宅勤務日の配分も変えられます。
- ・短時間労働制度の導入  
各々の事情に合わせて、短時間勤務ができます。労働時間、出勤・退勤時間を社員と相談して決めています。在宅勤務との併用もでき、柔軟な働き方を実現しています。
- ・短日数労働制度の導入  
週5日未満の勤務を認めており、たとえば、週3.5日の勤務もできます。在宅勤務との併用も可能としています。社会貢献活動のため利用している社員がおり、仕事以外の活動も活発にできるよう支援しています。
- ・定年退職したOBを社外協力者として登用  
定年退職したOBを社外協力者として登用しています。今までに培った技術や経験を継続して発揮できるよう、本人が望む範囲で、意欲的に働ける場を提供しています。また、将来的には、定年制を廃止することも視野に入れていきます。

## 従業員の声

- ・週に1,2回程度の出社となるので、打ち合わせは内容を熟慮して行うようになりました。また、顔を合わせる時間が少なくなった分、声を掛け合う回数が増えました。
- ・通勤時間分を子育てや家庭のこと、定時内でやりきれなかった仕事にあてることができ、仕事と生活の両方を充実させることができました。
- ・社員の状況により柔軟に対応してもらっています。社内的に制度化される前から在宅勤務に対応してもらっています。
- ・会社の仕事とは別に、社外で月70時間程度のボランティア活動を行っているため、会社は週3.5日勤務という短日数や短時間の勤務形態を認めてもらっています。仕事と生活の両面でとても助かっています。

